

市政記者 各位

「福岡地区水道企業団 渇水対策本部」の設置について

福岡地区水道企業団の主な水源である筑後川では、昨年8月以降の少雨傾向により、現在も筑後川水系の各ダムから断続的に放流が行われ、貯水量も減少の一途をたどっております。

この異常少雨に対し当企業団では、海水淡水化センターの生産水量を10月下旬から段階的に増量し、さらに12月12日からはフル稼働（5万m³/日）を続けながら、筑後川水系ダムからの放流量を抑制し、貯留水の温存に努めております。

しかし、依然として筑後川の流況に回復の兆しはなく、2月16日には国等による第2次渇水調整が行われる見通しとなったことを踏まえ、当企業団においても、より迅速かつ適確な渇水対応を図っていくため、福岡地区水道企業団 渇水対策本部 を設置します。

今後も引き続き、国・県・構成団体等と十分協議しながら対応してまいります。

記

1 本部設置日時

令和6年2月16日（金） 14：00

※14時頃、福岡地区水道企業団（福岡市南区清水四丁目3-1）に
「福岡地区水道企業団 渇水対策本部」の看板を設置します。

2 本部長

福岡地区水道企業団企業長 中村 貴久

3 渇水対策本部における対応

- (1) 国・県等の関係機関との連絡調整
- (2) 水源等に関する情報収集
- (3) 構成団体への情報提供
- (4) 節水の呼びかけ及びPR

※福岡地区水道企業団の構成団体（6市7町1企業団1事務組合）
福岡市・大野城市・筑紫野市・太宰府市・古賀市・糸島市
宇美町・志免町・須恵町・粕屋町・篠栗町・久山町・新宮町
春日那珂川水道企業団（春日市・那珂川市）・宗像地区事務組合（宗像市・福津市）

【連絡先】

福岡地区水道企業団 計画調整課 増山
815-0031 福岡市南区清水四丁目3-1
TEL：092-552-1732 FAX：092-552-1719
Email：keikaku@f-suiki.or.jp

福岡地区水道企業団の水源状況について

福岡地区水道企業団の主要な水源である筑後川流域の令和5年の降雨量は、4月から7月にかけて平年値を超えていたものの、8月以降は少雨傾向となり、特に9月から11月の降雨量は平年値の30~50%程度となっている。

(1) 筑後川流域（瀬ノ下上流域平均）の降雨状況 (mm)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平年値※1	66.1	87.8	134.7	152.9	174.4	412.8	444.3	232.5	201.0	98.0	86.6	65.4	2,156.5
R4年	48.9	22.4	138.3	153.0	95.7	284.1	330.0	292.7	333.0	55.3	33.5	34.0	1,820.9
R5年	78.4	77.0	123.7	187.1	310.3	436.4	735.3	182.3	53.3	30.6	43.8	46.3	2,304.5
平年比	118.6%	87.7%	91.8%	122.4%	177.9%	105.7%	165.5%	78.4%	26.5%	31.2%	50.6%	70.8%	106.9%

※1 平年値：1991年(H3年)~2020年(R2年)の30年間を月別に平均した値

(2) 筑後川水系ダムの貯水状況（前年との比較） (千m³)

水系	関連ダム	利水容量	令和5年2月13日		令和6年2月13日	
			貯水量	貯水率	貯水量	貯水率
筑後川	江川・寺内ダム [小石原川ダム]※2	49,300.0	45,173.0	91.6%	16,249.0	33.0%
	筑後大堰	930.0	930.0	100.0%	698.2	75.1%
	合所ダム	6,700.0	6,066.0	90.5%	2,401.0	35.8%
	大山ダム	11,000.0	7,841.0	71.3%	3,883.0	35.3%
合計		67,930.0	60,010.0	88.3%	23,231.2	34.2%

※2 小石原川ダムは当企業団の水源ではないが、江川・寺内・小石原川ダムの3ダムは総合運用を行っているため記載している。

(3) 海水淡水化センターのフル稼働による筑後川取水量の減量



福岡地区水道企業団の 一日最大供給水量（1~3月期）

